

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第147号



2018年12月19日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: [yv2t-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp)

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9



## フレッシュマン紹介 No.4 うわまち病院労組

### 拡大幹事合宿に、8人参加！

11/17・18(土・日)、三戸浜の民宿「はら」で、恒例となった拡大幹事合宿が行われ、8名が参加しました。

メインテーマの「労働法制」の講義を、全労働の川口さんをお願いしましたが、横須賀出身の川口さんの迫力ある講義に、皆納得。来春に向け、各単組でも、全労働への講師依頼をお願いします。

参加者からの講義は、介護問題(葉山)、提案型労働運動としての、地域産業「農漁業」の活性化(新倉)、特攻兵器(田中)、介護施設(藤枝)、

朝日訴訟(伯山)、認知症(加藤)で、特に認知症の話はわかりやすく、好評でした。

お待ちかねの夕食には、伊勢エビ3尾と、カワハギ3尾の刺身、マグロ大トロの舟盛りが出て、おおいに盛り上がり、翌朝、伊勢エビの味噌汁となって、美味しく頂きました。

今回の合宿は、秋本さんの中学生の娘さんが参加し、うわまち病院の加藤さんが初めて講義を行うなど、かつてない雰囲気の中となり、大成功を収めました。

横須賀市立うわまち病院労働組合で、執行委員をしております。梅木と申します。私が組合員になってみようと思いついたのは、自分の働く環境が、何年経っても変わらず、希望が見い出せなかったからです。入社してナースエイドとして働き3年が過ぎ、「このままでは、いけない。行動を」と思って組合に入りました。自分の不安や、他の方の話しを聞いたり、「労働」の意味を勉強したりしながら、少しずつ働き方にプライドを持つ事ができました。私達の環境も、加藤現執行委員長・丸山前執行委員長が、根張り強く、何度も要求を押しすすめて下さって、①臨時職員の正職員化②年休の連続取得の増加が実現しました。組合としては、まだ要求すべき案件があります。引き続き、声をあげていきます。又、「うわまち病院の老朽化による移転決定」と今年度、上地市長より、発表がありました。本年中に移転場所が決定等々、地元の住民による移転に反対の署名活動も行なわれているという事です。私達組合も、しっかりとみていかなくてはいけない状況にあります。

日々の勉強会で教わった「正しい考えを持つには、知識が必要」という言葉をいつも胸に刻んでいます。

### 山本泰道さんを偲ぶ会に85名参加！

12/1、10月に急逝された山本泰道さんを偲ぶ会が、電力連絡会・横三労連・年金者組合の三者合同で、産業交流プラザで、故人の性格を反映して、和やかに盛大に行われました。

横三労連では、実行委員長を葉山副議長、司会を藤枝事務局次長が担当、また故人の思い出を、新倉・山本両幹事が行いました。

スライド上映も好評で、「上を向いて歩こう」の合唱も、おおいに盛り上がりしました。

